

伊勢

阿波踊り
花笠踊り
沖縄エイサー
郡上おどり

木曾 踊り 越中 おおら 風の 盆の
よこい 鳴子 踊り 西馬 真音 内盆 踊り
おん ぼい 節 さん 流 踊り
河内 音 頭 佐 左 崎 島
伊勢 音 頭 宮 間 木 道
諏訪 御 柱 木 道
奉 祝 花 火

伊勢のまつり

祭、お伊勢さんへご奉納

伊勢神宮
第十七回 神嘗奉祝祭

平成29年おまつりウィーク

伊勢まつり 10月 7日～ 8日 0596-21-5549
神嘗奉祝祭 10月14日～15日 0596-25-5151
初穂曳 10月15日～16日 0596-25-5154





命の糧、稲の稔りに感謝し、豊穰を祝う神嘗祭

作る喜び、収穫する喜び、食べる喜びを、
未来のわたしたちにも

豊かな自然に感謝して、大切な誰かと一緒に実りを味わい、
美味しいと喜ぶ笑顔を見たいから、三重県の農業は、今も続いている。

大好きなあなたにも、大地がくれる彩り豊かな食卓を。

JAグループ三重

- 三重県農業協同組合中央会
- 三重県信用農業協同組合連合会
- 三重県厚生農業協同組合連合会
- 全国農業協同組合連合会三重県本部
- 全国共済農業協同組合連合会三重県本部

耕そう、大地と地域のみらい。



神嘗祭は、神様に新穀を奉げる事を主とするとともに、五穀の豊穰、国民の平安などをお祈りする大祭で、神宮で執り行われる年間千五百余りのお祭りの内、最も重要な祭儀です。

お祭りは、午後五時の興玉神祭と御卜の儀に始まり、午後十時からの由貴夕大御饌、深夜二時からの由貴朝大御饌を奉った後、正午からは幣帛という五色の布や織物などを勅使（天皇陛下のお使い）が参向され、御奉納なされる奉幣の儀、夕刻の御神楽と続きます。

朝夕の由貴大御饌は、神田で作られた新米の御飯の他に、御餅、さまざまな神饌を奉る儀であり、庭火の薄明かりの下厳粛に行われます。由貴大御饌以外の祭儀については参道等から拝観することができます。

神嘗祭に際し、装束・祭器具を一新することから、神嘗正月とも呼ばれます。

神宮のお祭りは、米作りの歴史です



私たち日本人の主食であるお米は神様からの賜り物であり、生活の原点。稲は命の根だから「イネ」というとも伝えられています。神宮の祭儀は、日本人が忘れてはならない稲作の歴史を思い起こさせてくれます。

お米に関する祭事は二月の祈年祭に始まります。その年の五穀豊穡を祈り、四月の神田下種祭、五月の神田御田植初へとつながります。神宮のお祭りにお供えする御料米の舂種を蒔き、そして、早苗を植える行事です。風雨の多い五月と八月には、五穀の豊かな実りを祈る風日祈祭。九月、無事に稔りの秋を迎える古式どおりに稲穂を手で抜き取る抜穂祭が行われます。

抜穂祭を終えた稲穂は乾燥させてから神に奉るための神嘗祭を待ちます。

伝統を守りながら豊かな瑞穂の国であり続けるようにと祈りを込める神宮の一年は、こうして巡ってゆくのです。



懸税

かけちから

千年の昔、米の持つ豊かな成長が付与されることを期待して人々は嬰兒が誕生すると産屋の中にお米を撒きました。生命をつなぐ金色の稲穂に霊力を感じた遠い祖先たちは、人のみならず神様も、健やかに活動するためには米の御霊を身に受けなければならぬと信じていました。

神嘗祭の当日、正宮を囲む御垣の一つ・内玉垣には「懸税」と呼ばれる全国から寄せられた稲の束がずらりと懸けられます。「税」は稲の上代語のこと。これには豊稔を感謝して捧げられるという説がありますが、それ以上に神様にチカラを受けていただき、また一年健やかに活躍いただきたいという気持ちが入り込められているのです。神嘗祭にあたり、総たばかりの瑞々しい霊力に満ちた稲を飯や神酒に調えてお供えするのと同じく同様の意味を持っています。天皇陛下がお作りになられた稲は御初穂といわれ、シデがつけられています。

神嘗祭をお祝いし、神様へ感謝を込めて初穂を奉納

神様への新穀奉納を、
勇ましい木遣り唄と
エンヤの掛け声で
賑やかに祝います。



内宮への奉納は
お初穂を川船に載せ、
清流五十鈴川を
水飛沫を上げながら
勇ましく遡り、
宇治橋の袂から御神域へ。
そして内宮五丈殿へと
奉納いたします。



神嘗祭をお祝いし、感謝の気持ちとともにその年に穫れた新穀（お初穂）を奉納させていただく行事、それが初穂曳です。
初穂曳は、10月15日（外宮）と16日（内宮）に行われますが、お木曳行事やお白石持行事と同様に、外宮へは奉曳車で陸曳により、また内宮へは初穂船で五十鈴川を遡る川曳によりそれぞれ初穂を奉曳し、両宮へ奉納いたします。
勇壮な木遣り唄とエンヤの掛け声で賑やかに祝う初穂曳行事を、ぜひご覧ください。



地元神領民と特別神領民が
食の神様・外宮へと
初穂を運びます

「お伊勢さんのために」と神宮とともに歴史を刻んできた伊勢の町。
江戸時代には、神宮をとりまく地域は神領地として自治が認められ、そこに住む神領民は、神宮への奉仕が義務づけられる代わりに納税免除の特権が与えられていました。
その心は深い崇敬心となり、今でも遷宮のお木曳やお白石持、そして初穂曳に受け継がれています。
神宮へ思いを寄せる全国の人々も特別神領民として、神宮の行事に参加できます。
初穂曳は伊勢ならではの行事として、また神嘗祭を広く伝える行事として継承されています。

初穂曳
特別神領民の申し込みは、
（株）観光販売システムズ
（電話052125316324）へ。



外宮領陸曳 10月15日(日)

10時00分～12時30分

高柳商店街～月夜見宮前～県道鳥羽松阪線～外宮

内宮領川曳 10月16日(月)

10時00分～14時30分 五十鈴川～内宮

- 外宮 陸曳コース**
- 10:00頃 ● 高柳付近 一番車出発
 - 10:20頃 ● 二番車出発
 - 10:40頃 ● 三番車出発
 - 10:20頃 ● 月夜見宮前 一番車出発
 - 10:40頃 ● 二番車出発
 - 11:00頃 ● 三番車出発
 - 10:40頃 ● 県道と食さと前 一番車出発
 - 11:00頃 ● 二番車出発
 - 11:20頃 ● 三番車出発
 - 11:15頃 ● 外宮北御門 一番車到着
 - 11:35頃 ● 二番車到着
 - 11:55頃 ● 三番車到着

※一番車は子供・皇學館大学生、二番車は町衆、三番車は特別神領民が曳きます。
※スケジュールは予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

内宮 川曳コース

- 10:00頃 ● 浦田橋下手 出発
- 14:00頃 ● 宇治橋到着
- 14:30頃 ● 五丈殿奉納

神宮式年遷宮について もっと知りたいなら

「式年遷宮」の博物館

せんぐう館

- 伊勢市豊川町前野126-1
(外宮まがたま池)
 - 午前9時～午後4時30分
(入館は午後4時まで)
 - 毎月第4火曜日休館
(祝日の場合はその翌日)
- TEL.0596-22-6263



伊勢神宮・外宮にできた「せんぐう館」は、20年に一度天照大神に新しい社殿をお遷りを願うおまつり「式年遷宮」の博物館です。御装束神宝の製作工程や外宮正殿の原寸模型が展示されています。

日本で最初の私立博物館

神宮徴古館

- 伊勢市神田久志本町1754-1
 - 午前9時～午後4時
(観覧は午後4時30分まで)
 - 木曜日(祝日の場合はその翌平日)、
毎年12月29日～31日休館
燻蒸・展示替等臨時休館あり
- TEL.0596-22-1700



明治42年に創設された日本最初の私立博物館。ルネッサンス様式の荘厳な建物で、現在では国の登録有形文化財になっており、館内は伊勢の神宮祭典の関係資料や御装束神宝、歴史や参宮についての史料が展示されています。



式年遷宮とは、二十年に一度新しい神殿を造り、御装束神宝を古式のままに調進して大神様にお宮遷りをいただく、常若の精神に基づく神宮最大のお祭りです。

遷宮制度は天武天皇の御発案により、持統天皇四年(690)に内宮で最初の遷宮が行われてから千三百年余継承されてきた世界に例を見ないお祭りです。

二十年をひとつの区切りとして、この国の心を、姿をそれぞれの時代のなかに問い、確信し、千代八千代の弥栄を願うものがあり、その根底にあるものは自然、つまり八百万の神々とともに、人として生かされていることへの感謝に他なりません。二十年に一度造り替えられる神殿の建築様式は、唯一神明造と呼ばれ、柱は円柱の掘立式で、屋根は切妻造の平入りで萱葺。棟の両端を棟持柱で支える、弥生時代にまで遡る高床式穀倉の伝統的様式の原型を今に伝えていきます。

社殿造営に伴い御装束神宝も古例に従って調製されます。御装束とは、御正殿の内外を奉飾する御料の総称で、五百二十五種千八十五点、また神宝とは調度の品々で百八十九種、四百九十一点を数えます。

当代最高の名工が真心込めて製作する品々は、古代の文化と技を鮮やかに甦らすものです。第六十二回式年遷宮の八年に亘って三十に及ぶ祭典、行事は平成十七年五月の山口祭に始まり、木本祭、御杣始祭、御樋代木奉曳式、御船代祭、そして御殿を建て替える御用材を運ぶお木曳行事、木造始祭、鎮地祭が滞りなく斎行され、平成二十一年には内宮の五十鈴川に架かる宇治橋が新しく架け替えられ、平成二十五年夏には「お白石持行事」が、そして平成二十五年十月、神様が新宮へお遷りいただく遷御の儀が斎行されました。

「神宮のお正月」とも言われている神嘗祭を二十回重ねると大神嘗祭とも呼ばれる式年遷宮を迎えます。

福井県の新しいブランド米

F U K U I

いちほまれ

ichihomare

2017.9.23 販売開始!!

『いちほまれ』は日本の食卓のQOT(Quality of Table)を高めます。

『いちほまれ』はコシヒカリ発祥の地“福井県”が開発した
新たな米食文化を創出する、コシヒカリを超えるお米としてデビュー

「日本一おいしい、誉れ高きお米」

- 絹のような白さと艶
- 口に広がる優しい甘さ
- 粒感と粘りの最高の調和



「いちほまれサポーターズ」を結成
あなたも一緒に応援してみませんか？

現在、「いちほまれサポーターズ(応援団)」を募集中！サポーター登録をして、様々なイベントに参加してみませんか？うれしい特典も付いています。詳しくはホームページをチェックしてみてください。



いちほまれ

検索

ふくいブランド米推進協議会
(福井県/福井県JAグループ)

伊勢神宮神嘗祭奉祝

ENJOY
ROPPONGI HILLS SKY

この空は、伊勢にも繋がっている。



東京の真ん中を、タノシサの真ん中に。

六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー

[52F屋内展望台]10:00~23:00(最終入館22:30) 金・土・祝前日は25:00(最終入館24:00)まで 【屋上スカイデッキ】11:00~20:00(最終入場19:30)
[展望台入館料]一般 1,800円 高校・大学生 1,200円 4歳~中学生 600円 シニア(65歳以上) 1,500円 【スカイデッキ追加券】500円(4歳~中学生は300円)
問合せ先 TEL: 03-6406-6652 www.roppongihills.com/tcv ※イベントによって営業時間が異なる場合があります。 ※スカイデッキは、荒天時クローズ

屋内 展望フロア



屋上 スカイデッキ



伊勢神宮神嘗祭奉祝





陽の恵みを受け、人が慈しみ育んだ稲の稔り、
それは私たち日本人の命の糧。
その稔りに感謝を込めて、
日本の祭りが伊勢に集います。

伊勢神宮 神嘗奉祝祭

かんなめほうしゆくさい



伊勢名物 赤福

本店 〒516-0025 伊勢市宇治中之切町26番地
電話 0596-22-2154(代) ファーダイヤル 0120-081381
<http://www.akafuku.co.jp/>

「お伊勢さん」と呼び親しまれている神宮。
その神宮では、年間千五百にも及ぶお祭りが行われていますが、その中でも最も重要なお祭り、それが神嘗祭（かんなめさい）です。
神嘗祭とは、今年穫れた新穀であり命の糧である「お米」を、神様に奉り感謝する儀式。
その神嘗祭をお祝いするため、地元神領民や特別神領民は神宮に、新穀を奉納する行事「初穂曳」を行います。
そしてまた、全国からは著名なお祭りが伊勢に集い、神宮への感謝の想いを込めて、踊りや舞いなどを奉ります。
収穫の喜びと五穀豊穡の感謝を皆で分かち合う、それが神嘗奉祝祭なのです。

伊勢神宮神嘗奉祝祭

- 主催／神嘗祭奉祝委員会 三重県伊勢市岩洲1丁目7-17(伊勢商工会議所) TEL0596-25-5151
- 共催／伊勢神宮奉仕会 伊勢神宮奉仕会青年部 (株)スコルチャ三重 三重県
- 後援／伊勢市 伊勢商工会議所 (公社)伊勢市観光協会 (一財)伊勢神宮崇敬会 近畿日本鉄道(株) JR東海 (公社)三重県観光連盟 三重交通(株) (公社)伊勢志摩観光コンベンション機構
- 協賛／(株)赤福 岡三証券(株) 近畿日本鉄道(株) クラブツーリズム(株) JAグループ三重 (株)百五銀行 森ビル(株) ふくいブランド米推進協議会
- 協力／中部国際空港(株)
- 発行／神嘗祭奉祝委員会 ■写真提供／神宮司庁

伊勢神宮神嘗祭奉祝



人と地域に
寄り添い
同じ未来を
見つめる銀行。

お気軽にご相談ください。
《資産運用・住宅ローン・ビジネスローン》

 **百五銀行**
FRONTIER BANKING

インターネットホームページ <http://www.hyakugo.co.jp/>

FRONTIER BANKING

日本の祭りと心が伊勢に集う

神嘗奉祝祭「祭のまつり」

10月14日(土)

前夜祭

三重県営サンアリーナ 16時20分～21時

10月15日(日)

初穂曳 外宮領陸曳

(伊勢神宮奉仕会) 特別神領民の参加
高柳商店街～月夜見宮前～外宮前大通り(県道鳥羽松阪線)～外宮
10時～12時30分

祭のまつり

外宮勾玉池奉納舞台及び外宮前大通り
11時30分～15時20分

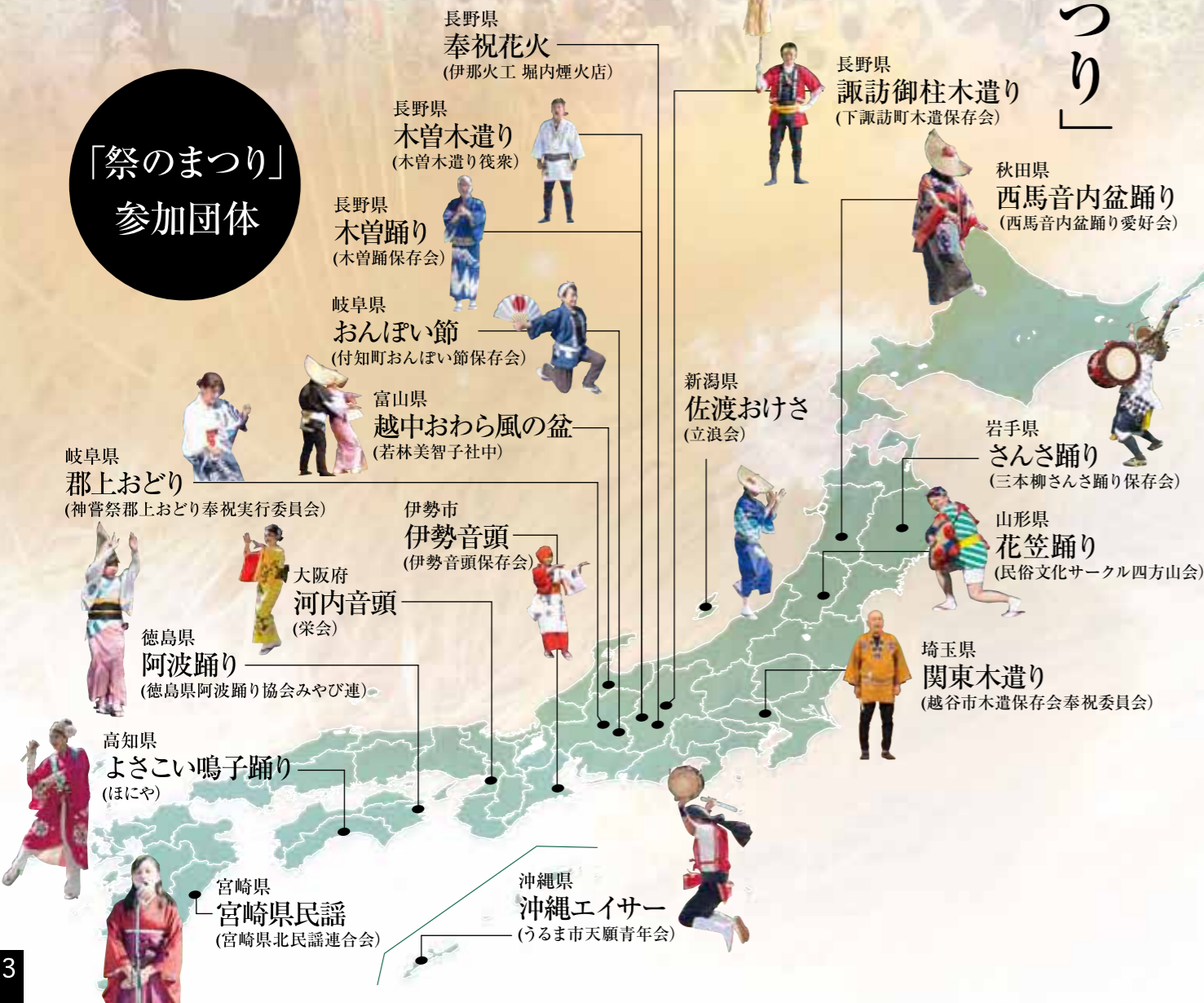
10月16日(月)

初穂曳 内宮領川曳

五十鈴川～伊勢神宮内宮 10時～14時30分

一年に一度、日本三大民謡、三大盆踊り、
三大パレードをはじめこれだけのお祭りが一同に揃い、
華麗に響演するのは伊勢ならでは。
お伊勢さんへの熱い想いと想いが響きあう、これが日本の「祭のまつり」。

「祭のまつり」 参加団体



前夜祭

一足早く、三重県営サンアリーナに
全国の祭りが集結します！**一般無料開放**

お伊勢さんへの熱い想いを
持った祭りがここに集い、
互いの伝統にふれあいます。
祭のまつりの前日に行われる
この前夜祭は、
一般の方もご覧いただけます。

10月14日(土)

16時20分～21時00分

会場 三重県営サンアリーナ

聖地伊勢に集う
日本の誇り高い
祭りの数々が
秋の伊勢を
彩ります。

伊勢神宮外宮 外宮前大通り(県道鳥羽松阪線)

A-1・A-2会場(外宮前大通り(県道鳥羽松阪線))

・パレードを中心とした祭りを披露

A-3会場(外宮前大通り(県道鳥羽松阪線))

・奉曳車が通り抜けます
・みんなで踊ろう、郡上おどり
13時50分～14時40分

B会場(勾玉池奉納舞台)

・勾玉池に美しい調べや雄々しい木遣りが響き渡ります。

C会場「神嘗うまいもん広場」

・全国の“うまいもん”がこの会場に集結!!
食べ歩きしながら祭を楽しもう!!

※雨天時は皇學館大学講堂で2部入れ替え制となります。
整理券は、外宮前C会場本部テントにてお一人様につき1枚お配りいたします。
第1部配布開始は9時から、第2部配布開始は11時30分からとなり、無くなり次第終了とさせていただきます。会場には駐車場はございません。



初穂曳

外宮領 陸曳 10月15日(日)
一番車 出発10時00分～11時15分頃到着
二番車 出発10時20分～11時35分頃到着
三番車 出発10時40分～11時55分頃到着(予定)

内宮領 川曳 10月16日(月)
浦田橋下手出発10時00分～
宇治橋14時00分頃到着

| タイムスケジュール | 10:30 | 11:00 | 11:30 | 12:00 | 12:30 | 13:00 | 13:30 | 14:00 | 14:30 | 15:00 | 15:30 | |
|------------------------------|---------|---------|---------|--------------|--------|-------|----------|--------|-------|--------------|----------|---------------|
| A-1会場 外宮前大通り (県道鳥羽松阪線) | | | さんさ踊り | よさこい 鳴子踊り | 沖縄エイサー | 阿波踊り | おんほい節 | 花笠踊り | さんさ踊り | よさこい 鳴子踊り | 沖縄エイサー | |
| A-2会場 外宮前大通り (県道鳥羽松阪線) | | | 阿波踊り | おんほい節 | 花笠踊り | さんさ踊り | よさこい鳴子踊り | 沖縄エイサー | 阿波踊り | おんほい節 | 花笠踊り | 郡上おどり 阿波踊り |
| A-3会場 外宮前大通り (県道鳥羽松阪線) | 初穂曳 一番車 | 初穂曳 二番車 | 初穂曳 三番車 | 伊勢音頭 | 河内音頭 | 佐渡おけさ | 郡上おどり | 河内音頭 | 伊勢音頭 | 佐渡おけさ | 郡上おどり | |
| B会場 勾玉池奉納舞台 | | | | | 木曾木遣り | 木曾踊り | 諏訪御柱木遣り | 関東木遣り | 宮崎県民謡 | 西馬音内盆踊り | 越中おわら風の盆 | |

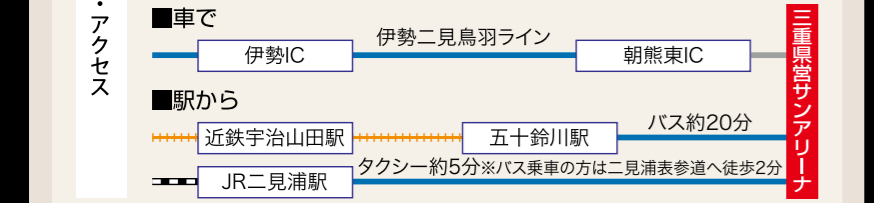
※プログラムは予告なく変更になる場合があります。あしからずご了承ください。



| タイムスケジュール | 16:30 | 17:00 | 17:30 | 18:00 | 18:30 | 19:00 | 19:30 | 20:00 | 20:30 | 21:00 | | |
|-----------|------------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|-------|----------|-------|-------|------|
| | 木曾木遣り・木曾踊り | 宮崎県民謡 | 河内音頭 | 西馬音内盆踊り | さんさ踊り | おんほい節 | 諏訪御柱木遣り | 佐渡おけさ | 越中おわら風の盆 | 伊勢音頭 | 郡上おどり | 阿波踊り |
| | | | | | | | | | | | | 奉祝花火 |

※プログラムは予告なく変更になる場合があります。あしからずご了承ください。

三重県営サンアリーナ
伊勢市朝熊町字鴨谷4383-4
TEL.0596-22-7700
http://sun-arena.or.jp/



シャトルバス
近鉄宇治山田駅～サンアリーナ間を、13時30分より約30分間隔で運行いたします。

- 交通のご案内
- 東京～名古屋(東海道新幹線)～伊勢市(近鉄特急orJR快速みえ)
 - 大阪難波～伊勢市(近鉄特急)
 - 京都～伊勢市(近鉄特急)
 - 東京～伊勢IC(東名高速・伊勢湾岸道路・東名阪自動車道・伊勢自動車道)
 - 名古屋～伊勢IC(東名阪自動車道・伊勢自動車道)
 - 大阪～伊勢IC(西名阪自動車道・名阪国道・伊勢自動車道)
 - 京都～伊勢IC(名神高速・新名神高速・東名阪自動車道・伊勢自動車道)

祭のまじり

10月15日(日) 11時30分～15時20分
会場 外宮勾玉池奉納舞台及び
外宮前大通り

日本三大民謡、日本三大盆踊り、日本三大パレードが伊勢に集結!!

徳島県徳島市 阿波踊り

日本三大民謡
日本三大盆踊り
日本三大パレード

徳島県阿波踊り協会・みやび連

四百年余の歴史を持つ徳島の阿波踊り。みやび連は、正調踊りを基本に伝統を継承しつつ常に新しさを追い求め、張子の獅子頭を持って踊る獅子踊りをはじめ自由奔放に踊る男踊り、艶やか・華麗で優美な女性達の踊りなど、緩と急、静と動が入り交じった情熱溢れる踊りをどうぞご覧ください。

お囃子が響き、
ぞめきのリズムに
身も心も弾む



山形県山形市

花笠踊り

日本三大民謡
日本三大パレード

民俗文化サークル四方山会

菅笠に紅色に染められた花をつけ、土を掘る、水を汲むなど農作業の光景を寸劇風にまとめ踊る花笠踊り。四方山会の花笠踊りは、気軽に誰でも踊れる日本舞踊的な新しい振り付けや創作踊りに加え、艶やかな衣装に身を包み、農作業の喜びを躍動感溢れる踊りです。ご覧いただく皆様も一緒に心弾ませましょう。



山形の県花
「紅花」をあしらった
笠の波がうねり咲く

沖縄県うるま市

沖縄エイサー

日本三大パレード

うるま市天願青年会

エイサー踊りは沖縄に根付く貴重な文化遺産。祖先崇拜の行事として、日本の精神文化を伝えていきます。三線の音色と空へと響く太鼓の音に合わせ、若者が勇壮華麗に踊る、熱気溢れる沖縄独特のエイサー。緩急の踊りが組み合う腰の入った迫力のある演技と大太鼓と締太鼓の力強いパチ捌き、女性のしなやかで優雅な手踊りもあわせてお楽しみください。



迫力の演技と
太鼓のパチ捌きが
見るものを
とりこにする

岐阜県郡上市

国重要無形民俗文化財

郡上おどり

日本三大民謡
日本三大盆踊り

神嘗祭郡上おどり奉祝実行委員会

徹夜踊りとして有名な郡上おどり。その始まりは四百年以上の昔、天正年間。伊勢の参宮道者が土産として持ち帰った踊りを、郡上の風土に合わせて磨き上げ、踊り継がれてきました。振り付けに昔の農耕の所作が取り入れられた、お米の収穫に感謝する神嘗祭にふさわしい踊りで、皆一つになりましょう。

山紫水明の
郡上の里で、
四百年余
踊り継がれる
盆踊り



高知県高知市

ほにやよさこい 鳴子踊り

ほにやよさこい 其ノ二十七

「ほりまやラフソデー」

踊る人と見る人が一緒に創る、よさこいを創りたいと生まれたほにや流よさこい。

皆さまに支えていただき二十七回連続出場し、今年も高知よさこい祭りで「銀賞」を頂きました。これも皆さまの、ご声援のおかげと心より感謝しております。

これからも土佐の宝、よさこい祭りを「全国へ」と、そして「世界へ」と広めてまいりたいと思います。

「ほにや流よさこい」を、ぜひご一緒にお楽しみください。



<https://youtu.be/AXY2eTb7bwM>

富山県富山市

越中おぢら風の盆

若林美智子社中

豊作を祈り、哀調の調べに包まれて踊る風の盆。胡弓奏者若林美智子が奏でる「越中おぢら節」は、祖父から受け継いだ若林流。

楽器を揺らしながら弦を押さえ、弓を器用に操る胡弓の演奏は習得が難しいといわれているが、若林流はその揺らし方に特徴があります。独特の響きをお聞かせしましょう。

不思議な静謐さと

簡素な美を備えた

哀調の調べに包まれる



岐阜県中津川市

おんぼい節

付知町おんぼい節保存会

古来より伊勢神宮の御神木や幕府のご用材は付知町の山から搬出され、搬出された木材を付知町の男衆が体をはって付知川を流し木曾川を流し、各地へ奉納されたと言われています。

大きな木材を大勢の男衆が心一つにして、「おんぼい!! おんぼい!! おんぼいなー」と、かけ声をかけながら川を流したとされています。その勇ましさを感じてください。

「おんぼい」とは

御神木を運び出すときの掛け声



長野県木曾町

木曾踊り

木曾踊保存会

朝日将軍木曾義仲公を弔う「義仲旗上げまつり」など、木曾町でのお盆や各イベント、祭事に欠かせない踊りである木曾踊り。

素朴さゆえの奥深さが魅力の唄と踊りです。ぜひお楽しみください。

古くより

木曾谷一帯の村々に伝わる

素朴な盆踊り



岩手県盛岡市

さんさ踊り

三本柳さんさ踊り保存会

文化文政の頃、南部藩主南部利敬公より伝承奨励の巻物を授かり、お盆に先祖供養として家々を廻り「踊り連中」一団によって継承されてきました。笛、太鼓、踊り手が円陣で踊り、上下の振りには踊りの原型、古い芸態といわれナンバの踊りが特徴です。

躍動・華麗な舞いで魅了したいと思います。(岩手県指定無形民俗文化財)

花笠が廻り

五色の腰帯が綺麗に開く



新潟県佐渡市

佐渡おけさ

立浪会

佐渡おけさの起源についてはいろいろな伝説があります。九州のハイヤ節が北前船に乗って日本海を北上し、能登や新潟、そして佐渡の小木に入り「小木おけさ」となりました。

大正の末頃、村田文三さんという方により現在の「佐渡おけさ」が完成されたと云われています。最初に三味線だけでゆったりと唄う「正調佐渡おけさ」には哀愁が感じられ、笛と太鼓が加わると「おけさぞめき」となり、賑やかな唄と踊りに変化します。さらにテンポが早い「選鉢場おけさ」は佐渡金山の作業唄で、独特の節回しをお聞き下さい。



九州ハイヤ節が風に乗って佐渡の荒波と島民が育んだ宝物です

秋田県羽後町

西馬音内盆踊り

西馬音内盆踊り愛好会

東北を代表する洗練された伝統ある盆踊り。神秘的な彦三頭巾に編み笠を深くかぶり、昔を物語る美しい端縫い衣裳を身にまとった女性の優雅な舞いと、それとは対照的に賑やかに鳴り響く囃子の音が醸し出す、幻想的な世界を感じてください。

美しい端縫い衣裳を身に纏い、優雅に表現される幻想的世界

日本三大盆踊り



大阪府八尾市

河内音頭

栄会

江戸時代浪速の国、河内平野に河内音頭の前身である河内節らしき唄が各村で生まれ、お盆の先祖供養のために踊っていたものが、時代と共に変化し現在の河内音頭が形作られて来ました。

洋楽と浪花節が融合した語り芸ともいわれる躍動感に心躍らせてください。

「エンヤ、コラセー、

ドッコイセ」でお馴染み



宮崎県民謡

宮崎県北民謡連合会

宮崎県北民謡連合会は、県内にむかしから唄い継がれる民謡の伝承と伝統芸能の保存に努めながら、次世代への継承者の育成を目的に子どもたちの指導を行っています。

毎年4月に開催される「県北民謡選手権大会」も今年で二十九回を重ね、幼少の頃から唄いはじめた子どもたちも成人の唄い手として活躍しています。
どうぞお楽しみください。



「民謡を日本のホームソングに」「一家一謡」をキヤッチフレーズに!

伊勢音頭

三重県伊勢市

伊勢音頭保存会

「ヤートコセ ヨーイヤナ」の囃子で親しまれている伊勢音頭。お伊勢参りが盛んになった江戸時代に、荷物にならない参宮土産として郷里に持ち帰り、それぞれのお国柄に合わせて地域の民謡として各地に普及していきました。
お楽しみください。

日本全国の民謡の原点となった「伊勢音頭」の老家



奉祝花火

長野県上伊那郡

伊那火工堀内煙火店

今回奉納する花火は、五穀豊穡であることに感謝し、実る喜びを表現したいと思います。色鮮やかな花が咲き乱れ、自然の恵みの品々が豊かに実り、そして忘れてはならない皆様の「一握りのお米」を、稲穂をイメージした花火でお届けいたします。



長野県下諏訪町

諏訪御柱木遣り

下諏訪町木遣保存会

天下の大祭「御柱」に

なくてはならない木遣り

寅と申の年、七年毎に行われる御柱祭は、諏訪大社に伝わる神事で、祭の規模、勇壮さとも他に類がなく、天下の大祭のひとつに数えられています。その御柱になくなくてはならない木遣り唄を披露させて頂きます。



埼玉県越谷市

関東木遣り

越谷市木遣保存会奉祝委員会

久伊豆神社祭礼の練歌、山車の曳歌

越谷の木遣りは江戸開府以後当地に伝えられたとされており、上棟祝儀等に歌われていたが、主に久伊豆神社祭礼の練歌、山車の曳歌として伝えられ、「越谷の木遣」が平成二年越谷市無形民俗文化財に指定を受け、現在は「越谷市木遣保存会」が中心となって保存・継承されています。どうぞお聞き下さい。



長野県木曾町

木曾木遣り

木曾木遣り筏衆

木曾木遣り、大樹を寝かす子守唄

民の心も鎮めます

木曾の深山より数百年木曾川を筏師が御神木を伊勢へ送ってきました。環境が変わり筏で流すことは無くなりましたが、木曾の筏衆が心の清流で御神木を流します。
心に響く、木遣り詩を伝えます。



伊勢



「昨年の神嘗奉祝祭もてなし協賛者ご芳名一覧」

誠にありがとうございました

| | | | | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|--------------------|----------------|-------------|-------|
| ■一〇〇〇,〇〇〇円 | (株) 真珠漬本舗 | (株) アド近鉄伊勢支店 | (株) エムイータル販売 伊勢支店 | 中村石材仏壇店 | (株) 近藤友男商店 | 高野谷 資 |
| (株) 赤福 | (株) 山野建設 | マルト建設(株) | (株) 山本建材 | 伊勢米穀企業組合 | 三重保安商事(株) | 松山 泰樹 |
| ■五〇〇,〇〇〇円相当 | (株) 岩戸屋 | 菱田建材(株) | (株) 世古口建設 | 鶴田業務店 | 三重名鉄タクシー(株) | 南谷 拓哉 |
| (株) 伊勢福 | (株) ナントラ | 覚田真珠(株) | (株) セイワ | 世古建設 | 海王丸漁業(株) | 敷谷 峰尚 |
| ■三〇〇,〇〇〇円 | 中部電力(株)伊勢営業所 | 美和ロック(株) | (株) 中島工務店 | アイテック | 角仙合同(株) | 星野 浩史 |
| (株) 堀崎組 | 三重交通(株) | 松屋製菓(株) | (株) 日建エンジニアリングサービス | 佐々木塗装店 | ツダアトミック(株) | 石原 遼 |
| ■二〇〇,〇〇〇円 | 船谷建設(株) | 横浜ゴム(株)三重工場 | (株) 西村工作所 | 伊勢地撰 | (資)二富士 | 中川 斗麻 |
| (株) 観光販売システムズ | 近畿日本鉄道(株) | (株) 巽板金 | (株) ファミリークリーン | 伊勢総合税理士法人 | 中屋電気工事 | 山口 陽子 |
| ■一〇〇,〇〇〇円 | キクカワエンタープライズ(株) | (株) 大喜 | (株) 山久木工 | 伊勢いけばな協会有志一同 | 童田和代きもの学院 | 山口 悦也 |
| (株) ぎゅーとら | 吉川建設(株) | (株) 伊勢ネットワーク | (株) 植田電気工事事務所 | 伊勢いなほの会 | 朝美会 | 中西 好子 |
| (株) ミタス伊勢 | 御木本製菓(株) | みずほ銀行伊勢支店 | (株) ゴトー商会 | N T T西日本三重支店 | 居酒屋 恵 | 山口伊津子 |
| (株) メディアコア | 八木段ボール(株) | 三菱東京UFJ銀行伊勢支店 | (株) アビ | 伊勢商工会議所企画事業課二同 | 伊勢むすびの会 | 林 とも子 |
| ■五〇,〇〇〇円 | (株) 若松屋 | 三重銀行伊勢支店 | (株) 山信工業 | 眠り屋ヒラマツ | 伊藤 綾生 | 織戸 勉 |
| (株) 奥野建設 | (株) 大玉浴材 | 中京銀行伊勢支店 | (株) 鹿海屋 | 伊勢茶道協会 | 川崎 守央 | 森田 展加 |
| (株) マスヤグループ本社 | ケアサービスほっとhand | 伊勢農業協同組合 | (株) 勝負写真屋 | ベスパスポーツクラブ | 石井 正浩 | 田口 祐太 |
| (株) UL Japan | ■二五〇,〇〇〇円 | 伊勢土地建物サービス | 石川商工(株) | (株) 松山産業 | 大西 一司 | 東世古京子 |
| (株) 勢乃國屋 | (株) 第三銀行伊勢支店 | ひもの塾 辻物産 | 杉山設備(株) | 二見興玉神社 | 竹内 伸行 | 大西 敬子 |
| 虎屋ういろ(株) | (株) ZTV伊勢放送局 | まつりすと | 保貴産業(株) | 二見興玉神社女子神職会 | 白野 壽一 | 見並喜久男 |
| 日本特殊陶業(株)伊勢工場 | (株) 坂谷自動車工業 | 西岡 眞 | 香南設備(株) | 奥田 勝博 | 山本 正人 | |
| 魚春 | 千巻印刷産業(株) | ■一五〇,〇〇〇円 | 南部自動車学校・大東自動車(株) | 鳴川 容 | 岩崎 好訓 | |
| 河口外科 | 三重信用金庫伊勢支店 | ■一〇,〇〇〇円 | 三和シャッター工業(株)伊勢営業所 | 増田 敏宏 | 石川 晃弘 | |
| 堀崎 萱二 | ■一〇,〇〇〇円 | (株) 木本自動車 | 中央産商(株)伊勢営業所 | (株) ルネ | 西田 穂乃 | |
| 中村 基記 | (株) 伊藤工務店(伊勢市) | (株) アスビル | ナカガワインテリア産業(株) | (株) 八百正 | 萩野 孝信 | |
| ■四〇,〇〇〇円 | (株) 音羽 | (株) コンピューターオフィス | セントラル硝子販売(株) | 吉川 智 | 森 保夫 | |
| (株) 百五銀行伊勢支店 | (株) 庄栄 | (株) 松井鉄工所 | 宮本建設(株) | 宮本 洋司 | 天命 秀貴 | |
| ■三〇,〇〇〇円 | (株) 伊勢国際観光 | (株) トーエネック伊勢営業所 | 廣瀬精工(株) | サクラ看板(株) | 島羽 倫彰 | |
| (株) 山口工務店 | (株) 森組 | (株) 日光電気 | 三崎屋硝子建材(株) | 宝鉄工(株) | 中村 幸弘 | |
| (株) 三水 | (株) ユニオンサービス | (株) 石九 | 南シーリング(株) | 山口製麺(株) | 片山 知幸 | |
| | | | | (株) Believe | 井村 進 | |
| | | | | (株) アケノ | | |

(敬称略順不同)

伊勢神宮神嘗祭奉祝

仲間が広がる、旅が深まる



クラブツーリズム

近鉄グループ

仲間を誘って旅に出よう! 楽しい旅はWebで検索!

クラブツーリズムは、街歩きから宇宙旅行まで多彩なツアーをお届けしています。

※地域により発行している媒体が異なります。

全国約300万世帯に毎月お届けする
日本最大級の旅の情報誌



あなたの町から
ご出発!



日本の四季を
旅するなら



世界の旅が
これ1冊!



テーマのある旅
多数ご用意!



伊勢神宮神嘗祭奉祝

岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

www.okasan.co.jp



日本各地、あなたの街で運行中!
クラブツーリズム専用バス「クラブツーリズム号」



旅行会社での専用列車の使用は日本初!
クラブツーリズムツアー参加者専用列車「かざろひ」



クラブツーリズム最高級バス
ロイヤルクルーザー四季の華「碧号」

伊勢神宮神嘗祭奉祝

伊勢志摩 近鉄リゾート

「伊勢志摩近鉄リゾート」は、
志摩観光ホテルをはじめとする多彩な宿泊施設や、
大人から子どもまで楽しめるレジャー施設を併せ持つ
近鉄グループの複合リゾートです。
風光明媚なロケーションに囲まれた
伊勢志摩サミットの舞台となった地で、
至福のひとときをお過ごしいただけます。

Shima Kanko Hotel



G7伊勢志摩サミット会場／志摩観光ホテル
あご湾を望む高台に立ち、伊勢志摩サミットの舞台として世界をおもてなした志摩観光ホテル。伝統の「ザ クラシック」、モダンな「ザ ベイスイート」そして開業当時の面影を残す「ザ クラブ」。異なる3つの趣を持ち、国際的リゾートホテルとして新たな歩みをはじめます。

リゾート感あふれるレジャー施設



志摩スペイン村 バルケエスパニーヤ



志摩マリンランド



賢島エスパニーヤクルーズ

伊勢志摩へ、観光特急「しまかぜ」で。



プレミアムシートやカフェ車両など、乗ること自体が楽しみになる観光特急。大阪難波、京都、近鉄名古屋から伊勢志摩へ、プレミアムなひとときをお過ごしいただけます。

